

「コロナの3年間を振り返って」

新型コロナウイルス感染症も一段落し、ゆくはし記念病院のひろばを久しぶりに発行することになりました。この3年間は、地域の皆様もコロナ、コロナで大変な日々を送られたことと思います。

当院では、この間に2回の大きな院内クラスターを体験しました。

DPAT(災害派遣精神医療チーム)の手法を取り入れ、病院一体となり、この感染症に対応し、病院が機能不全となることがなく対応することができました。その結果として、最悪時も、外来機能を閉じることがなく、精神的に入院が必要な方々の対応が可能となり、病院を運用することができました。

6月になり、コロナの影響が感じられない、今までの病院の状況に戻りつつあります。このことは一重に地域の皆様の御支援の賜ものと感謝しております。

常々、当院は、地域の精神的にお困りの方々の早期受け入れを行い、又、早期に退院された後、地域の生活でお困りの方々の支援を続けておりました。

このことが、地域の皆様の精神科医療への御期待にお応えすることであり、今回のコロナ後の地域の皆様の御支援に繋がったと思っております。

「この3年間のコロナの経過を通して、「我々は地域で臨床をやっており、地域の御期待に地道に応えていくこと」の大切さを感じました。

今後とも当院は、地域の皆様の御期待に応えていきたいと思っています。地域の皆様の御支援宜しくお願い致します

行橋記念病院

院長 一甲 則男



行橋記念病院 外来診療ご案内 0930-25-2000 (予約制)

		月	火	水	木	金	土
精神科	再診	森 外園 執行 森 怜児 正倫 満	一甲 大澤 三木 眞一郎 珠津子 則男	(副田秀二) 中島 森 康裕 執行 正倫 満	中野 中島 大澤 眞一郎 康裕 勝文 (AM)	一甲 中野 外園 則男 勝文 (AM)	外園 怜児 満
	初診	一甲 中島 三木 則男 康裕 (PM) 珠津子	外園 怜児	大澤 眞一郎	森 中島 康裕 (PM) 満	執行 中野 勝文 (PM) 正倫	三木 珠津子
神経内科	初診・再診		本村 暁			本村 暁 (AM)	

※診療時間外の受診についてはお電話でご相談ください。

※当院は初診・再診ともに予約制となっております。

診察をご希望される方は、まずはお電話でご相談ください。

精神科救急治療病棟のご紹介

心と体の回復の場所

今回は、当院の精神科救急治療病棟（以下、救急病棟）の取り組みや現状の一端をご紹介します。

当院の救急病棟は病床数48床で入院時より医師をはじめ看護師・精神保健福祉士・作業療法士・臨床心理士・介護福祉士が皆様のサポートを行います。

救急病棟では、様々な症状から社会生活が困難となり、集中的な治療を必要とする方を対象とした病棟です。早期回復・早期退院を目指していきます。

十分な休息はもちろんですが、治療は精神療法や薬物療法を中心に行います。また症状によって異なりますが心理療法・生活機能訓練・作業療法・栄養指導・アルコールリハビリプログラム等を取り入れ個々の患者さんに応じた支援を行い一日でも早い「心と体の回復」を目指します。また入院後の早い段階で退院後の生活がスムーズになるよう精神保健福祉士によるサポートを行っていきます。

入院直後は硬表情で緊張が強かった方も入院するまでは不安だったけど早く入院すればよかった」思っていたイメージと違った」等聞かれ、少しずつ表情が柔らかくなり、精神的に余裕がうかがえるようになる方も多くいます。

入院したことで自分の抱えていた問題と向き合えるようになります。今後の事を真剣に考え行動し退院される方もいます。

今後とも患者さん、御家族に安心して入院して頂けるよう気持ちに寄り添い地域で信頼される病院を目指してまいります。

皆様の心と体の回復の場所になれるようあたたかい看護を提供していきたいと考えます。

中央2階病棟 看護師長
秋吉 諭



病院スタッフ

新入職式開催しました

4月3日、令和5年度翠会ヘルスケアグループ新入職式がオンラインで開催され行橋記念病院、行橋園から併せて30名が参加しました。

不安と期待が入り混じるなか、新入職式に臨まれる皆さんの姿に頼もしさを感じるとともに、より良い職場作りへの思いを新たにしました。

令和5年度がスタートし早くも3ヶ月が経ち、新入職の皆さんはそれぞれの部署で活躍されています。これからも職員一丸となり、地域から信頼される病院を目指したいと思えます。

看護部長

末次 巨樹



入職式の様子

デイケアセンターのご紹介



デイケアセンター
スタッフ

デイケアセンターはニッポロのケア部門（精神）、いきがけケア部門（高齢）で運営しています。当院の入院治療を終え、退院して地域で生活される方や、認知症の初期症状が出始めた方にご利用いただいております。

ニッポロのケアは生活リズム作り、症状などのセルフコントロール、対人関係のコミュニケーション、仕事や作業所への移行など、各自が目的に合わせてリハビリされています。

いきがけケアは自宅以外で顔なじみの関係を作ることに伴う第2の居場所として、活動を通して感情の発散や意欲の向上など生活の質を高めることによる認知機能低下防止を目的としています。

今後も「日ニッポロ」に来て良かったと思って頂けるような時間を過ごして頂ける場所を作っていきたいと思っております。

デイケアセンター 所長

高橋 健一

編集後記

この3年間を振り返ると、初めて体験すること、初めて聞く言葉ばかりでした。濃厚接触、ロックダウン、外出自粛など沢山ありました。嫌なことの方が多い3年間だったように感じます。

そんな中でも新たな趣味、新たな楽しみを見つけることもできた3年間でもありました。完全にはウイルスがなくなつた訳ではないですが、私自身上手に付き合っていたらと考えています。

地域医療連携室

土井 暢之



医療法人社団
翠会

ゆくはし記念病院のひろば
発行日 令和5年7月
発行所 行橋記念病院
(発行人 一甲 則男)
次回発行 令和5年秋頃

「ゆくはし記念病院のひろば」は、
行橋記念病院のホームページで
閲覧できます。

<http://www.yukuhashi-hp.or.jp>

